

# パブリックコメント実施結果報告書

平成24年10月19日

担当課	森林・林業総室
担当者	大原
連絡先	0857-26-7304

意見公募のテーマ：「森林環境保全税の見直し」に関する意見募集

## ①手段別意見応募件数（意見件数を記入してください。応募者数は（ ）書きしてください。）

（記入例：1人が提出したものに3つの意見が記載されていた場合には、 3（1）と記載してください。）

郵便	ファックス	電子メール	県民課・県民局へ	その他の方法	計
7（7）	8（4）	16（8）	（ ）	（ ）	31（19）

※「その他の方法」の例：意見交換会、電話、イベントなど

## ②応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した （一部のみ反映したものを含む）		
既に盛り込み済み	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続に賛成（8）</li> <li>・ 一部の地域に重点的に使用されるのは反対</li> <li>・ 皆伐施業地の再造林に対する嵩上げ支援</li> </ul>
今後の検討課題	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効果が見えない税金徴収には反対</li> <li>・ 現状の助成事業に無駄がないか見直す事が先決だ。</li> <li>・ 竹林整備事業の補助率は現状のまま維持して欲しい。</li> <li>・ 竹林整備事業の補助率を上げて欲しい。</li> <li>・ 間伐の補助率は平成22年度同様として欲しい。</li> <li>・ 本数割合の間伐では混交林への誘導は難しいと考える。</li> <li>・ 小、中学校にもっと広報して森林体験企画への参加を促すべき</li> <li>・ 行政広報誌を活用し、森林体験企画の県民周知をして欲しい。</li> <li>・ 使途を決定する前に、もう一度説明会を開いて欲しい。</li> </ul>
対応困難	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種事業の推進を図るため、多少の増額も必要（4）</li> <li>・ 使途の改善がされない限り反対</li> <li>・ 竹林整備事業の採択要件を緩和して欲しい。（2）</li> <li>・ 森林体験企画実施のみの支援ではなく、実施団体の育成支援もして欲しい。</li> <li>・ 樹木や竹の生えた耕作放棄地を畑に復元する事業に使用すべき</li> <li>・ 裸地化を防ぐための枝打ちへの支援</li> <li>・ 天然林への侵入竹防止の支援</li> </ul>
その他 （例：施策の体系外の意見等）	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 治山工事などの必要な工事は集中的短期間で完成すべき</li> </ul>
計	31	

※上記による分類が困難な場合は、担当課の整理に基づく分類で差し支えありません。

## ③意見募集結果概要書を、1部添付してください。

→とりネットのパブコメページ・  
県庁ロビー掲示板で公表します。

他の公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネット （実施担当課）	報道機関への 資料提供	県議会への報告	県民課等での 縦覧等	広報誌等への 掲載	その他
○		○	○		○

※「その他」の例：審議会報告など

注：③「意見募集結果の概要」には、意見に対する県の対応方針も記載してください。  
参考：H23実施結果 →<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=173293>